

古河第一中 学校

推進委員名	成田 昭子 前田 美香				
学級名	1年	2年・3年	4年	5年	6年
	のびのび	EN・前進			
学級生人数	122名	18名	名	名	名

家庭教育学級の様子

7月10日(月)「性教育のアップデート」 野村 那津子 先生 参加者20名 古河一中図書室

学校や現代の性教育、性の多様性、性犯罪などについて、プロジェクターで資料を提示しながら、丁寧に講義していただきました。講義終了後には、思春期の我が子に親としてどう向き合えば良いか質問すると、とても分かりやすく答えていただき、参考となる本も紹介してくださいました。



12月8日(金)「アロマでバスボム&クリーム作り」 野本 麻希 先生 参加者8名 古河一中図書室

心や身体への香りの効果や効能について講義していただき、実際にオレンジやペパーミントのオイルを手に塗って体験できたことが良かったです。自分の好みや悩みに効く香りを選んで、オリジナルのバスボムとクリームを作ることができてとても楽しかったです。



一年間を振り返って推進委員から一言

コロナが5類に移行し、学校の活動も通常に戻りつつあるなか、たいへんな部分もありましたが、1年間を通して、保護者の方々と楽しく活動することができました。参加した保護者の方々が少なかったことが残念でしたが、とても良い講座を企画・実行することができたと思います。

家庭教育講演会や人権啓発映画上映会などにも参加し、様々な内容で学ぶことができたこともよかったです。

古河第二中 学校

推進委員名	富江実穂 茶花 美保子					
学級名	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	こうのとり	Green	ミルミル			
学級生人数	177名	16名	18名	名	名	名

家庭教育学級の様子



7月4日(火)1年 アロマテラピー講座

野本麻希先生をお招きして、アロマについて学びました。アロマスプレー、ハンドクリームを作り、日常を忘れて、リフレッシュすることができました。



11月28日(火)  
2年 エコクラフト講座

谷井祐子先生をお招きして、エコクラフトで、クリスマスリース作りをしました。さまざまな色合いのリースが完成しました。



9月26日(火)  
3年「健康は腸から」講座

古河ヤクルト販売(株)萩谷日和先生をお招きして、腸のはたらきについて学びました。ヤクルトのおみやげもいただきました。



一年間を振り返って推進委員から一言

コロナ禍も明けたことで、各学年で企画した講座を予定通りに開催でき、保護者にも楽しんでもらえました。その一方で、保護者の多くが働いている状況で、「参加したくても休みが取れず参加できない」などの実態もあり、参加人数が定数に満たない講座もありました。

来年度は「参加したい方が参加しやすい日程設定」と「より参加したくなる講座の企画」を課題によりよい家庭教育学級の活動を進めていきたいと思います。

一年間、ありがとうございました。

古河市立古河第三中学校

推進委員名						
学級名	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学級生人数	394名	名	名	名	名	名

家庭教育学級の様子

○10月26日(木) 怒りを生かすアンガーマネジメントとは?  
古河市生涯学習課社会教育主事 安達 忠臣 先生  
14:30~15:30 参加者15名

この講座は、安達先生のととてもわかりやすい講話でした。家庭で子どもと接していると、悪いところにはばかり目がいき、ついつい怒ってしまうようなことがあります。今回の講話を聞いて、普段の自分の行動を振り返ることができました。怒りを出さないのではなく、怒りをコントロールしていくことが大切であることもよくわかりました。またケーススタディーや「怒り」のタイプ診断等で自己診断ができ、とても勉強になりました。

○1月16日(火) ハーバリウムレッスン講座  
「ハーバリウム教室」  
フラワーボヌール 高森 淳子 先生  
14:00~15:30 参加者14名

フラワーボヌールの高森淳子先生にハーバリウム講座「ハーバリウム教室」を開催していただきました。昨年度は「フラワーアレンジメント講座」でした。今回は、「ハーバリウム教室」でとてもわかりやすく丁寧に教えていただきました。初めてドライフラワーをアレンジして、瓶の中に入れてみましたが、きれいに見えるのがとても難しかったです。集中していたら、あっという間に1時間半が過ぎました。来年は、「ランプづくり」にもチャレンジしてみたいくなりました。

一年間を振り返って推進委員から一言

推進委員として1年間の活動を振り返ってみると、どの行事もとても勉強になりました。特に夏休みの人権啓発映画は印象に残りました。今後、人権問題の正しい理解を深めるためしっかり勉強をしていこうと思いました。

仕事の都合で予定が合わなく、家庭教育学級生の皆さんと遠くまで出かけて活動することができませんでしたが、学級長をはじめ、家庭学級生の方々に支えられ、何とか1年間活動することができました。また、家庭学級生とのつながりができてとてもよかったです。

ご協力ありがとうございました。

## 古河市立総和中 学校

推進委員名	小松崎 亜矢					
学級名	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学級生人数	159 名	5 名	4 名	名	名	名

## 家庭教育学級の様子

## ◆ 9月26日(火) 高校見学会(昌平・花咲徳栄・久喜北陽)

9時～16時 参加者 16名 各高等学校

「実際に見学してお話をきいて、直に学校の特色や雰囲気を感じる良い機会となった。」「1・2年のうちからこのような形で情報収集ができるのは良いと感じた」という感想があった。



## ◆ 12月4日(月) クリスマスリースづくり 高橋あづさ先生

10時～12時 参加者 10名 学校多目的ホール

はじめてのリースづくりに皆いきいきとした様子で取り組んでいた。各々のセンスが問われる部分あり、制作時間も人それぞれ。ちょっとしたハプニングもありながら楽しい時間を過ごすことができた。素敵な作品ができあがり皆満足。

「早速玄関に飾ったよ。素敵だよ」という報告もあった。

## ◆ 2月26日(月) 座談会+給食試食会 上村 守先生

11時～13時 参加者 8名 学校多目的ホール

総和中 上村守教諭より「子どもへの接し方」をテーマにご講義いただいた後、座談会という形で皆と意見交換をした。『子どもと日々学校で接している先生の貴重な話をきけて「あ、そういう言い方しちゃってるなあ」とか「なるほどそういう風に接すればいいのか」など自らを見つめ直す良い時間だった。』『給食も美味しい!』と好評だった。



## 一年間を振り返って推進委員から一言

今年度は新型コロナウイルスの5類移行を受け、4年ぶりにすべて対面での活動ができたこと、嬉しく思います。

参加者数は全体的には少なかったものの、参加してくださった方が「よかった」「楽しかった」「またこういうのやってほしいな」と感想くださったので、今後の活動にも活かしていきたいです。

家庭教育学級の意味をまだまだ分からない方が多いと感じるので、学校行事時に説明の場を設けていきたいと思っています。

古河市立総和北中学校

推進委員名	山田 理恵					
学級名	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学級生人数	54名	名	名	名	名	名

家庭教育学級の様子

10月28日(土) 合唱コンクール

参観者 160名 総和北中学校体育館  
 総和北中学校「飛翔祭」において、全学級による合唱コンクールを開催しました。会場に入場できる保護者の人数制限をなくし、多くの方々に生徒の歌声を聞いていただくことができました。「どのクラスも優劣がつけがたく、成長段階に応じた素晴らしい内容の合唱でした。」との、講師の先生からお言葉をいただきました。

講師: 斎藤 紀子 先生



12月1日(金) いのちの教育

参観者 49名 総和北中学校武道場

思春期の心と体の変化、命の誕生の奇跡、性感染症についての講話及び将来の妊娠のことを考えながら自分の生活や健康について向き合うことを目指すプレコンセプションケアを行いました。生物学的な性、心の性、好きになる性など性の多様性にも触れる内容でした。新しい命を授かるということは大きな責任が伴うことについて、生徒と保護者が共に考えました。

講師: 古河市子育て包括支援課保健師

2名

一年間を振り返って推進委員から一言

研修会や講演会に関してその都度全生徒へ連絡をしましたが、都合がつかずに参加する方が少ない状況でした。学校行事と連携しての活動内容では、多くの生徒の方に参加していただき、生徒の成長の様子を見ていただくことができました。

古河市立総和南中学校

推進委員名	小林 真理子					
学級名	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学級生人数	127名	134名	143名	名	名	名

12月2日（土）親子作業（PTA廃品回収）

参加者 300名 学校グラウンド及び駐車場

家庭教育学級及びPTA活動の一環として、保護者、生徒、地域等で協力し、資源回収を実施しました。

感染対策を十分に行ったうえで、回収した資源をリサイクルしたり、再利用することで環境保全への意識を高めることができました。

さらに、各教科での環境学習へも関連付け、環境問題やSDGsへの関心をもてる機会としました。

今回の廃品回収を通じて、保護者と生徒たちが自分たちの身近にある環境について、改めて考えることができました。



一年間を振り返って推進委員から一言

推進委員として一年間の活動を振り返り、

・廃品回収を通じて、中学生の生徒が保護者と協力して、一緒に活動することは大変意義があることだと思いました。今後もこの活動を通じて、親子で環境について考えていきたいです。

古河市立三和中 学校

推進委員名	初見 公子					
学級名	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学級生人数	101名	名	名	名	名	名

家庭教育学級の様子

9月26日(火)防災教育「HUG」

NPO法人茨城県防災士会の防災士13名の方を講師として招き、避難所運営ゲーム「HUG」を実施しました。

当日は、生徒と家庭教育学級員が同じグループになり、様々な事情をもった避難者が訪れる避難所の諸問題や課題について話し合いました。避難所を運営する中で、避難所の重要性や諸問題の解決について様々な立場から考えることができました。対応すべき避難者の情報が大変多く、また速いため、最初は戸惑いましたが、生徒の皆さんの冷静で適切な状況判断に感心させられました。家庭においても、防災にあたり準備しておくこと、確認しておくべきことがあることに気づきました。避難所運営ゲーム「HUG」終了後には保護者間の意見交換があり、今回の防災教育を通して、保護者間の交流を図ることができました。



一年間を振り返って推進委員から一言

人権に関する講演会、映画等にも参加しました。普段、人権について考えることがなかったので、新鮮な気持ちで講演を聞いたり、映画を鑑賞したりしました。母親として子を育てるにあたり、どのように関わればよいのか、これまでの言動は正しかったのか、自分を振り返り、今後に活かすよい機会となりました。

防災教育「HUG」や「親子で学ぶカーボンニュートラル教室」の活動では、保護者間の交流も増え、また、防災や持続可能なエネルギーなどについても新たな知識を得ることができました。子どもたちと一緒に活動することで、幼さも感じられる場面もありましたが、しっかりと成長していることや多くの人たちとの関わりについても学んでいることを実感することができました。

古河市立三和北中学校

推進委員名						
学級名	1年	2年	3年	4年	5年	6年
学級生人数	111名	名	名	名	名	名

家庭教育学級の様子



7月12日（水）親楽ブック学習会

坂本 真紀先生・竹村 拓子先生・綾部 恵美先生

放課後（14：30～15：15）参加者 11名 図書室

NPO法人ネットワークサポート親楽の方を講師に迎え、「愛情を伝える言葉かけ」というテーマで、グループワークを行っていただきました。参加者からは、「同じような悩みを抱えた方たちと情報交換でき、これからの子育ての参考になりました。」などの感想が聞かれました。

1月18日（木）ハーバリウム教室 角田 晃子先生

放課後（16：00～17：00）参加者 7名 図書室

日本ハーバリウム認定講師角田先生に色鮮やかな花をたくさん用意していただき、ハーバリウム制作を行うことができました。参加者からは、「素敵な作品を作ることができ、自宅のインテリアとして飾ることができて嬉しいです。」などの感想が聞かれました。



一年間を振り返って推進委員から一言

今回、推進委員として1年間活動させていただき、思春期という多感な時期の子供たちとどう向き合っていくかということを学んだり、1学年保護者同士の交流を深めたりすることができ、とてもよかったと思います。

家庭教育学級運営にあたって、より多くの方に参加してもらえるよう、参加しやすい時間帯や活動内容のアンケートを実施したことは有意義であったと感じています。

学校担当の教頭先生とも、参加人数の確認や実施内容の検討を連携して行うことができました。

家庭教育学級を推進していく上で、参加者のニーズに合った内容を行っていくことが必要であると思います。やはり中学生の子を持つ親としては、子育てをしていく上での悩みなどを共有することができるとういのではないかと思います。



古河市立三和東中学校

推進委員名	和田 絵美					
学級名	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	なのはな					
学級生人数	58名	名	名	名	名	名

家庭教育学級の様子

7月14日(金)「ハーバリウム教室」 高森 淳子先生  
参加者15名 パソコン教室

高森淳子先生を講師として、お招きして「ハーバリウム教室」を開催しました。高森先生に懇切丁寧にご指導いただき、素敵な作品に仕上がりました。参加した保護者の方々からも「参加してよかった」という声が多数、寄せられました。



「ハーバリウム教室」

12月4日(月)「親楽ブック」  
参加者12名 パソコン教室

NPO法人ネットワークサポート親楽の皆様を講師としてお招きしました。「うちの子、大丈夫？」というテーマで3~4人の小グループに分かれて、日頃の子どもへの指導について話合いました。保護者の方と話し合い、そんな方法もあるのかと気づき、有意義な話し合いができました。



「親楽ブック」

一年間を振り返って推進委員から一言

私は、家庭教育学級推進委員として、「ハーバリウム教室」や「親楽ブック」などの企画や運営に携わりました。「親楽ブック」では、同じ第1学年の保護者と事例を通して、子どもに接する方法や悩みなどを話合ふことができ、自分でもためになることが多かったです。「ハーバリウム教室」では、参加した保護者の方々、とても楽しく活動することができたという感想をいただき、やってよかったなあと感じました。

次年度も感染症対策をしっかりとした上で、できることを考えて、家庭教育学級が保護者のみなさんの役に立つ行事になれば幸いです。

※古河市ホームページに掲載されます。

※学校で1枚の提出になります。